

① 適正な土地利用の推進

新規	インターチェンジ周辺利活用検討事業費	531万円
		(前年度) -
担当課	企画秘書課	電話番号 74-8011


1. 本市の現状と課題
能越自動車道の4つのインターチェンジが市内に整備され、この利便性などを効果的に活用し、今後の本市の成長の基盤をつくることが求められています。

2. 平成30年度事業の内容
4つのインターチェンジ周辺の現況特性や産業動向の調査を行い、その調査結果を踏まえ、関係機関の意見などを集約してインターチェンジ周辺の土地利用の方向性をとりまとめ、都市計画マスタープランの検討のプロセスに入れて方針を決定します。

3. 目標値または実施により求める効果
能越自動車道の利便性を活かした産業づくりや人口増対策を推進します。

(単位: 万円)

財源	基金繰入金	530	経費内訳	委託料	531
	市の負担	1			



水見インターチェンジ周辺

新規	都市計画基礎調査費	614万円
		(前年度) -
担当課	都市計画課	電話番号 74-8078


1. 本市の現状と課題
都市計画基礎調査は、都市計画法第6条に基づき、概ね5年ごとに、人口、産業、土地利用、建物、都市施設、市街地整備などの現況や将来の見通しについての調査を行うもので、本市では平成25年度に調査を実施しています。

2. 平成30年度事業の内容
人口、産業、土地利用、建物、都市施設、市街地整備などの現況や将来の見通しについて、調査を実施します。

3. 目標値または実施により求める効果
客観的、定量的なデータを把握することで、的確な都市計画運用と各種施策の展開を図ります。

(単位: 万円)

財源	県の負担	147	経費内訳	委託料	614
	市の負担	467			



土地利用現況図(平成25年度作成)

① 適正な土地利用の推進

拡充 都市計画再構築事業費	1,275万円
	(前年度) 1,342万円
担当課 都市計画課	電話番号 74-8078


1. 本市の現状と課題
現在の都市計画マスタープランは平成17年に策定されてから、12年が経過しています。この間、人口減少や市役所の移転などによる中心市街地の活力の低下、用途地域外への都市機能の無秩序な拡散、能越道(七尾氷見区間)の開通など、社会環境が変化しており、計画の見直しが必要となっています。

2. 平成30年度事業の内容
社会環境の変化に対応するため、現在の都市計画マスタープランの評価・見直しを行います。また、旧市民病院跡地周辺における、用途地域の見直しを行います。

3. 目標値または実施により求める効果
まちの将来像やまちづくりの方針などを具体的に示し、無秩序な開発の抑制や適切な土地利用の誘導など、計画的な都市の形成を図ります。また、都市機能の適正な配置や、安心して快適に暮らせる居住空間の形成を図ります。

(単位:万円)

財源	市の負担	1,275	経費内訳	委託料	1,138
				印刷製本費	70
			その他	67	



豊かな自然と都市機能が共存したまち

拡充 地籍調査事業費	6,088万円
	(前年度) 4,245万円
担当課 農林畜産課	電話番号 74-8094

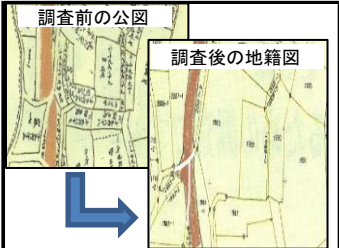
1. 本市の現状と課題
地籍調査は、土地の境界をめぐるトラブルの未然防止、公共事業計画及び整備の円滑化、災害復旧の迅速化などに役立つことから、地区での測量などの事業を計画的に実施しております。

2. 平成30年度事業の内容
上余川Ⅰ・Ⅱ、森寺Ⅰ、森寺Ⅱ・指崎の調査区において測量調査などを行います。

3. 目標値または実施により求める効果
地籍調査により、土地に関する情報が明らかになり、経済活動や行政活動を円滑に進めることができます。


(単位:万円)


財源	県の負担	4,125	経費内訳	委託料	5,333
	手数料	3		賃金	484
	市の負担	1,960		その他	271




●調査前後の比較イメージ


② 快適な住空間づくり

継続	空き家活用まちづくり事業費	350万円			
		(前年度) 817万円			
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075			
1. 本市の現状と課題 これからも空き家が増えると予想される中、空き家そのまま放置されると、老朽化の進行とともに、外壁や瓦などの落下、倒壊など周囲に危険を及ぼす恐れがあります。そうなる前に空き家の改修を行い移住者などへ貸し出すなど、住まいとして有効活用してもらうことで、地域資源の再生に取り組みます。					
2. 平成30年度事業の内容 空き家を改修し空き家情報バンクに登録していただける方へ改修などに要する経費の1/2(上限100万円)を助成します。また、歴史的建造物である土蔵を有効活用しながら保存していきます。					
3. 目標値または実施により求める効果 歴史的に価値のある建造物や負の遺産として捉えがちな空き家を地域資源として活用することで、まちに新たな魅力を創出していきます。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	50	経費内訳	補助及び交付金	200
	その他	132		積立金	62
	市の負担	168		その他	88
					 台所の改修

拡充	朝日山公園整備事業費(補助)	5,333万円			
		(前年度) 3,844万円			
担当課	都市計画課	電話番号 74-8076			
1. 本市の現状と課題 朝日山公園は、氷見市地域防災計画において市街地全域の緊急避難場所に指定されており、市街地に隣接した高台の避難場所として位置づけられております。市民の皆様からのご意見を公園整備に反映し、公園利用者の増加や安全性の向上を図ります。					
2. 平成30年度事業の内容 本公園は市内随一の展望地です。多くの市民の憩いの場となっております。 本市の目指す「海と緑の自由都市」の都市空間を創出するため、賑わいの中心となる活動的なエリアであるロングアリーナ及びヒルサイドの整備を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果 賑わいのある公園にするため、公園を訪れた市民の声を聞きながら、市民自らが企画し、利用する公園づくりに取り組み、魅力あふれる公園整備を行います。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	2,500	経費内訳	工事請負費	4,631
	市債	2,820		委託料	370
	市の負担	13		その他	332
					 朝日山公園休憩施設

② 快適な住空間づくり

継続	危険老朽空き家対策事業費	1,120万円			
		(前年度) 670万円			
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075			
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>本市の人口は今後一層減少することが想定され、空き家が益々増加することが見込まれます。市内各空き家の個別の状況や分布状況などを十分に把握した上で、それに応じた対策を検討・実施していく必要があります。</p> <p>2. 平成30年度事業の内容</p> <p>市街地または幹線道路沿いの危険老朽空き家の解体撤去を行います。市内の危険な老朽空き家のうち、特に解体撤去の必要性が認められる住居を民間企業または個人が事業主体として解体撤去を行う場合、対象となる除却費の2/3(上限50万円)を補助します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>危険老朽空き家を除去し地域住民の生命、身体または財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図ります。</p>					
(単位:万円)					
財源	国の負担	277	経費内訳	工事請負費	850
	市の負担	843		補助及び交付金	250
				役務費	20
					 <p>危険老朽空き家</p>

新規	水道事業経営戦略等策定事業費【水道事業会計】	2,344万円			
		(前年度) —			
担当課	上下水道課	電話番号 74-8208			
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>水道事業は人口減少が進む中にも社会基盤として将来にわたり安定的に給水を継続する必要があります。このため、耐震化・管路更新などの課題を検討し、経営戦略(中長期計画)を策定することが求められています。水見市水道ビジョンの更新と併せて、投資計画、財政計画が調和の取れた将来計画を策定します。</p> <p>2. 平成30年度事業の内容</p> <p>施設等の現状把握と地質状況等を踏まえた管種ごとの実耐用年数の見定めと、管網計算による、更新管の口径検討等により、必要な事業費の試算と、修繕費等の経費を含めた年次計画を作成します。成り行きによる年度割を人員体制、受注能力、資金状況等により、平準化等の調整を行い成果として計画にまとめます。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>給水人口の減少による施設・設備の適正化の検討や、予防保全による適切な維持管理による長寿命化の検討等を通じて中長期的な収支の状況を見定め、必要に応じて、起債等の財源検討や料金改定等の道筋を立て、企業運営の見える化を図ります。</p>					
(単位:万円)					
財源	一般会計繰入金	151	経費内訳	委託料	2,344
	水道一般財源	2,193			
					 <p>水見市水道マスコットキャラクター「プリコロくん」</p>

② 快適な住空間づくり

新規	設備拡張事業【水道事業会計】	6,460万円
		(前年度) ー
担当課 上下水道課		電話番号 74-8208
1. 本市の現状と課題		
<p>基幹管路(φ400mm以上)において、配水支管の整備の遅れから、やむなく給水分岐を行っている状況が82件あります。そのため、漏水発生など強靱な水道施設の構築に悪影響を与えることが懸念されています。</p>		
2. 平成30年度事業の内容		
<p>φ75～50mm 高密度ポリエチレン管 L=889mを布設します。</p>		
3. 目標値または実施により求める効果		
<p>平成33年度末までに基幹管路(φ400mm以上)における給水分岐件数0件を目指します。</p>		
(単位:万円)		
財源	一般財源	6,460
経費内訳	施設費	6,460



給水活動の様子

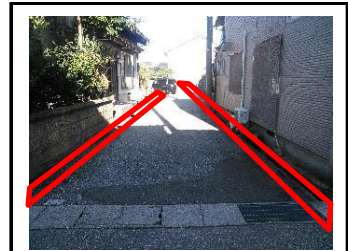
拡充	老朽管更新事業【水道事業会計】	3億7,461千円
		(前年度) 3億3,073千円
担当課 上下水道課		電話番号 74-8208
1. 本市の現状と課題		
<p>耐用年数40年を経過した耐震性のない管路の更新、漏水事故が多発する管路の更新、鉛給水管の更新を併せて、計画的に更新を行っています。人口減少や市民の節水志向により、水需要は減少しており、将来の水需要予測を踏まえた適正な口径での管路更新が必要となっています。</p>		
2. 平成30年度事業の内容		
<p>φ50～300mm ダクタイル鋳鉄管、高密度ポリエチレン管 L=3,130mを布設替します。</p>		
3. 目標値または実施により求める効果		
<p>管路の耐震化により、災害に強い強靱な水道管路の構築を図ります。</p>		
(単位:万円)		
財源	市債	20,520
	一般財源	16,941
経費内訳	施設費	34,390
	委託費	1,920
	その他	1,151



更新された配水管

③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

継続	街路リフレッシュ整備事業費	1,041万円			
		(前年度)	1,050万円		
担当課 道路課		電話番号	30-7070		
1. 本市の現状と課題					
昭和13年の大火復興以降に施工された市街地の道路側溝の老朽化が著しく、道路側溝の計画的な改修が必要となっています。					
2. 平成30年度事業の内容					
地蔵町地内豊砂2号線ほか3路線について、蓋掛けなど側溝改修を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
市街地の老朽化した側溝を改修することにより、良好な排水機能とともに、自動車や歩行者の安全な通行を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	561	経費内訳	工事請負費	1,000
	市債	480		消耗品費	19
			その他	22	



老朽化した市街地の道路側溝

継続	道路維持補修事業費	1億845万円			
		(前年度)	1億948万円		
担当課 道路課		電話番号	30-7070		
1. 本市の現状と課題					
安全かつ快適・円滑な交通環境を確保するため、市道の適正な維持管理に努めるとともに、道路修繕や草刈などに関する地域からの要望に応じていく必要があります。					
2. 平成30年度事業の内容					
地域からの要望に伴う道路修繕のほか、藪田地内市道藪田農協線ほか11路線の道路補修を行うほか、草刈や路面清掃など道路の維持管理に努めます。					
3. 目標値または実施により求める効果					
市道の適正な維持管理に努め、安全かつ快適・円滑な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,122	経費内訳	工事請負費	3,460
	市債	2,990		修繕費	2,000
	市の負担	6,733		その他	5,385



阿尾藪田線

③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

継続	道路舗装補修事業費		7,051万円		
			(前年度) 9,325万円		
担当課	道路課	電話番号	30-7070		
1. 本市の現状と課題					
道路パトロールを定期的に行い、必要に応じて道路舗装の損傷箇所を補修しています。					
また、舗装修繕に関する地域からの要望にも対応する必要があります。					
2. 平成30年度事業の内容					
堀田地内堀田五十里線ほか10路線について舗装補修を行うほか、地域からの修繕要望にも出来る限り対応します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
市道の舗装補修を行うことにより、安全・安心な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	561	経費内訳	工事請負費	5,898
	市債	5,490		修繕料	1,000
	市の負担	1,000		その他	153



継続	道路空間整備事業費		3,125万円		
			(前年度) 2,675万円		
担当課	道路課	電話番号	30-7070		
1. 本市の現状と課題					
市街地近郊の道路側溝の老朽化が著しく、道路側溝の計画的な改修が必要となっています。					
2. 平成30年度事業の内容					
七分一地内市道大野七分一線ほか5路線について、蓋掛け等側溝改修を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
市街地近郊の老朽化した側溝を改修することにより、良好な排水機能とともに、自動車や歩行者の安全な通行を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,235	経費内訳	工事請負費	3,000
	市債	1,890		その他	125



③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

継続	辺地債道路整備事業費	6,570万円			
		(前年度)	8,220万円		
担当課 道路課		電話番号	74-8074		
1. 本市の現状と課題					
本市は三方を山々に囲まれ、その中山間地には多くの集落が点在しています。これらの集落にて生活する人々の安心、安全な交通機能を確認するために辺地債道路整備を進めています。					
2. 平成30年度事業の内容					
市道吉池山川線他6路線において、狭隘で見通しの悪いカーブや交差点の改良、すれ違い困難箇所における拡改良、そして浸水被害の恐れがある区間解消を実施します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
狭隘で見通しの悪いカーブ区間改良(3路線3箇所) 見通しの悪い交差点改良(1路線1箇所)					
交差点部における浸水被害(1路線1箇所)					
すれ違い困難区間の解消(2路線2路線)					
(単位:万円)					
財源	市債	6,570	経費内訳	工事請負費	4,370
				委託料	1,933
			その他	267	



拡充	市単道路改良事業費	4,960万円			
		(前年度)	3,340万円		
担当課 道路課		電話番号	74-8074		
1. 本市の現状と課題					
市民生活に密着する生活道路について、安全性の確保や利便性の向上を目的とした数多くの要望を受けています。このような要望に対し、地域の交通状況に応じた道路機能を確認するため、市単道路改良事業を実施しています。					
2. 平成30年度事業の内容					
市道鞍川2号線他5路線において、集落内の行き止まり箇所の解消や幅員確保のための道路拡幅改良工事を実施します。国道415バイパスに接続する市道鞍川往易線では昨年に引き続き交差点改良工事を実施します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
集落内における行き止まりの解消(1路線1箇所)、交差点における見通しの確保(1路線1箇所)					
上り坂における安全確保のための付加車線整備(1路線1区間)					
狭隘区間における拡幅改良(2路線2箇所)ほか					
(単位:万円)					
財源	市債	4,720	経費内訳	工事請負費	2,360
	市の負担	240		委託料	2,130
			その他	470	



③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

拡充 社会資本整備総合交付金道路改良事業費

1億9,580万円

(前年度)

6,485万円

担当課 道路課

電話番号 74-8074

1. 本市の現状と課題

市内の道路網を形成する幹線市道において、安全・円滑・快適に通行できる道路本来の持つ機能が未だ、確保されていない路線が数多く存在します。これらの路線は延長も長く、事業規模が大きいため国の社会資本総合整備事業(社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金)を最大限活用して整備を進める必要があります。

2. 平成30年度事業の内容

交通量が増大する鞍川・泉地内の市道鞍川沖布線では平成29年度に引き続き2車線道路整備を実施します。また住居が連続する市道大浦石坊線では用補償手続きを進め工事に着手します。ふれあいスポーツセンターや氷見高校へのアクセス道路として整備が進む市道鞍川霊峰線バイパスは平成32年度の完成を目指しています。

3. 目標値または実施により求める効果

渋滞解消・交通ネットワークの多重化(1路線) 交通量増大箇所の2車線整備(1路線)

幹線道路の整備に合わせた道路ネットワークの強化(2路線)

狭隘住居区間における歩行者の安全確保(1路線)


(単位:万円)


財源	国の負担	10,480	経費内訳	工事請負費	15,850
	市債	9,100		委託料	1,960
				その他	1,770




ふれあいの森へつながる鞍川霊峰線BP


④ 地域交通の確保

新規	新交通システム調査検討事業費	60万円	
		(前年度)	—
担当課 地域振興課		電話番号	30-2949
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>市街地住民の高齢化や若年層の郊外への流出による市街地の空洞化、ひみ番屋街への来館者を十分に市街地へと導けていない現状であり、市街地の都市活力の維持・向上を図るために、市街地への誘客など回遊性の向上が必要です。</p> <p>2. 平成30年度事業の内容</p> <p>市街地における新交通システムの実証実験に向けた関係者との勉強会や先進地視察を実施します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>人口減少や少子高齢化を迎える社会に適応した移動手段の確保を目指します。</p>			
(単位:万円)			
財源	市の負担	60	経費内訳
			旅費 34 報償費 18 その他 8
			 <p>自動運転される小型モビリティのイメージ</p>


拡充	NPOバス運営推進事業費	1,921万円	
		(前年度)	1,701万円
担当課 地域振興課		電話番号	30-2949
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>中山間地域などでは、路線バスの維持が困難な地域があります。これらの地域では特定非営利活動法人によりNPOバスが運行されており、この移動手段を維持・確保するため、NPOバスの運行を支援する必要があります。</p> <p>2. 平成30年度事業の内容</p> <p>NPOバスを運行する特定非営利活動法人に対し、NPOバスの運行に係る費用の一部や、車両などの購入費を補助します。また、公共交通空白地有償運送を実施するために必要な「氷見市過疎地域有償運送運営協議会」を開催します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>中山間地域などにおける移動手段を確保します。</p>			
(単位:万円)			
財源	県の負担	574	経費内訳
	市の負担	1,347	
			 <p>NPOバス車両</p>

④ 地域交通の確保

拡充 生活路線バス維持対策事業費			465万円 <small>(前年度)</small> 206万円									
	担当課 地域振興課			電話番号 30-2949								
1. 本市の現状と課題 生活路線バスは通勤、通学、通院、買い物などの地域住民の日常生活を支える公共交通機関として重要な役割を果たしていることから、路線の維持・確保を行う必要があります。												
2. 平成30年度事業の内容 氷見市地域公共交通会議を開催するほか、回送経費の一部補助や、路線バス乗降調査を行います。公共交通空白地への対応に取り組むため、市内3地域でアンケート調査を実施します。今年度、上庄谷地域NPOバスが運行開始するまで、既存路線から外れる一部地域のバス利用者に対しタクシー料金の一部補助を実施します。												
3. 目標値または実施により求める効果 通勤、通学、通院、買い物などの地域住民の日常生活を支えるバス路線を維持・確保します。 上庄谷地域NPOバスが運行開始するまで、地域住民の移動手段を確保し、NPOバスへの円滑な移行を支援します。												
(単位:万円)												
財源	市の負担	465	<table border="1"> <tr> <td>経費内訳</td> <td>補助及び交付金</td> <td align="right">273</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通信運搬費</td> <td align="right">70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td align="right">122</td> </tr> </table>	経費内訳	補助及び交付金	273		通信運搬費	70		その他	122
経費内訳	補助及び交付金	273										
	通信運搬費	70										
	その他	122										
			 市内を走る路線バス車両									

継続 城端・氷見線地域公共交通総合連携事業費負担金			496万円 <small>(前年度)</small> 505万円			
	担当課 地域振興課			電話番号 30-2949		
1. 本市の現状と課題 JR氷見線は、JR城端線と一体となって通勤・通学など沿線住民の日常生活を支え、本市への来訪者が利用する公共交通機関として重要な役割を果たしているだけでなく、北陸新幹線新高岡駅へのアクセス路線として機能していることから、両線を維持し、利便性を向上させる必要があります。						
2. 平成30年度事業の内容 城端・氷見線活性化推進協議会が実施する事業の負担金を拠出します。協議会が実施する事業には、観光列車「べるもんた」車内でのおもてなし、両線利用状況調査、両線の直通化に向けた調査検討業務、氷見市街地周遊バス乗継助成をはじめとした利用促進対策などの事業があります。						
3. 目標値または実施により求める効果 JR氷見線・城端線の利便性を向上させ、路線を維持することで、沿線住民の日常生活を支えます。また、北陸新幹線新高岡駅の利用者を飛越能地域に行き渡らせることで、地域経済を活性化させます。						
(単位:万円)						
財源	市の負担	496	<table border="1"> <tr> <td>経費内訳</td> <td>負担金</td> <td align="right">496</td> </tr> </table>	経費内訳	負担金	496
経費内訳	負担金	496				
			 氷見線を走る忍者ハットリくん			

⑤ 情報通信基盤の整備・活用

新規	移動通信用鉄塔施設整備事業費		5,530万円		
			(前年度) ー		
担当課	広報情報課	電話番号	74-8201		
1. 本市の現状と課題					
<p>山間部などの携帯電話の電波が届かない地区において、順次、基地局を整備することにより情報格差の解消を図ってきました。現在、中波(平の山)地区のみが大手3事業者のエリアに入っておらず、早急な整備が望まれています。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>中波(平の山)地区に基地局を整備し、携帯電話不感地帯を解消します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>市民が住居する地域のうち、現在唯一不感となっている同地区を整備することにより、市内の不感を解消します。</p>					
(単位:万円)					
財源	県の負担	3,600	経費内訳	工事請負費	3,397
	市債	1,450		備品購入費	1,275
	負担金	480		その他	858
					
			携帯電話基地局		